

シャント

Q 1 シャント^{せんし}穿刺の痛みを取るテープ（ペンレス）を貼る前に、自宅でシャント肢の手洗いをしました。どうしてまた穿刺前に手洗いをしなければいけないのですか？

A 1 それはシャントからの感染を十分に予防するためです。透析患者さんにとってシャント管理は大変重要です。透析患者さんは健康な人と比べて免疫力が低下しているため、感染しやすい状態になっているのです。

ひとたびシャントが感染してしまうと、そこから菌が入り、全身にその菌がめぐり、危険な敗血症を引き起こす可能性もあります。そこまでには至らないまでも、ペンレスによって皮膚がただれたりかゆみが発生するなど、患者さんの精神的ストレスが増えることにもなりかねません。また、人工血管シャントの場合は、一度菌が付着したら消えることはありません。

たとえ自宅で穿刺部位を洗ってペンレスを貼ったとしても、ペンレスを貼っているその

部位は1時間も経過すれば蒸れて発汗しています。そこは、十分な細菌の育成場所になっているわけです。また、自宅から透析施設までの通院の間には、さまざまな物に触れるので、手に多種多様な菌が潜んでいるかは計り知れません。その手でペンレスをはがせば、そこに菌が付着することは容易に予想できません。

現在は、手洗いが感染予防に一番有効だといわれています。適切な方法で行われた手洗いは、消毒した状態に限りなく近づくといわれています。ペンレスをはがしても、その効力が失われるわけではないので、安心してペンレスをはがして、石けんを使って腕全体を洗ってください。

（大野盛子／あさお会 あさおクリニック・看護師）